

町の文化財・史跡を調査 ～第一小学校区～

目的：須恵町の文化財・史跡などを調査し、まちづくりに活かしていく。

佐谷建正寺

佐谷建正寺は、伝教大師（最澄）が創建したと伝えられている寺院です。毎年4月の第一日曜日は、十一面観音の御開扉が行われます。



写真提供：九州歴史資料館

木造伝教大師坐像（町指定文化財）



境内は、佐谷区文化財保存会の方のおかげで、いつも清浄に保たれており、心が落ち着きます。



写真提供：九州歴史資料館

木造十一面観音立像（県指定文化財）



かつてこの場所で数多くの名品が焼かれ、世界に輸出されていたと思うと、感慨深いものがありますね。

県内最大規模を誇る本窯跡

福岡藩磁器御用窯跡

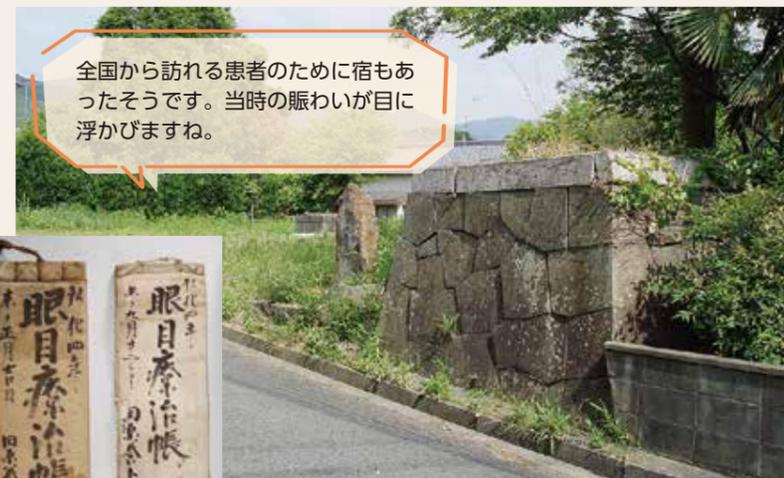
須恵焼は、江戸時代から明治にかけて、上須恵の皿山地区で焼かれた磁器です。本窯・新窯・試験窯の3基の窯が現存し、県の史跡に指定されています。



幕末期の須恵焼

田原眼科の屋敷跡

田原眼科は、福岡藩の藩医として名声をあげ、日本四大眼科と呼ばれました。江戸時代の診療記録「眼目療治帳」によると、北は北海道から南は鹿児島まで、年間1000人以上の人が治療に訪れていました。



全国から訪れる患者のために宿もあったそうです。当時の賑わいが目に浮かびますね。

屋敷跡には入口の石垣と井戸が残っている

江戸時代のカルテ



町内各所を視察

豪雨による 災害復旧工事を確認

昨年8月の豪雨による法面崩壊等の現場に対し、国の補助金等を活用した災害復旧工事が完了したので、現地に確認調査を行いました。
現場のほとんどは山中に位置しており、豪雨の影響で法面にダメージが発生したものです。
毎年のように豪雨が発生する中で、今年も豪雨の心配があることから、梅雨になる前に工事を完了させるために、担当課とともに応援の職員は奮闘したようです。
須恵町の山は比較的急峻で、水の災害が最も懸念されます。



立花寺地区農地災害復旧工事



旧柱田ため池災害復旧工事

空き家対策の 進捗状況を視察

令和2年に2回にわたり調査をしましたが、今回は、主な空き家のその後の状況について、現地にて確認しつつ説明を受けました。
すでに解体されたもの、交渉中のものなど、一定の前進が図られています。しかし、空き家の問題をすべて解決するには大変な時間を要すると思われます。

視察を終えて

今回は、須恵町の山間部と旧産炭地を短時間で視察する行程でした。災害をいち早く復旧すること、永年課題とされてきた空き家の問題を解決に導くこと、いずれも地味ですが大事な作業です。
議会としても、町民の声を聴きながら仕事を進めてまいります。



林道東原線2工区災害復旧工事